

- 1 教科名【国語】 科目名【 現代文 B 】 単位数【 2年 2単位 】
- 2 対象学年【 2年 普通科 】
- 3 使用教科書(出版社名)【 現代文 B (教育出版) 】
- 4 目標 ① 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
② 進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
- 5 授業計画

	単元・教材名	学習内容
一 学 期	1 随想 大人への丸太 たじろがず 渡ってみよう 姜尚中	○学年の当初にあたり、言葉との出会いや驚き、生きることの意味を考える。 ○時代を超えた言葉の力を実感し、古典のおもしろさ、想像力とは何かについて学ぶ。
	2 小説 一 山月記 中島 敦 山椒魚 井伏鱒二	○表に表れたものでは知りえない、人間存在の内奥について考える。 ○寓意をとおして、人間存在や心の実相への理解を深める。
	3 評論 一 ミロのヴィーナス 清岡卓行 感性とは何か 桑子敏雄	○論理の展開が具体例をとおして進んでいくという評論の基本構造を理解する。 ○筆者の実感の中心、感動の本質を逆説的な表現、考察によって解き明かしていく方法を学ぶ。 ○茶室という伝統的日本文化を扱った文章を読み、日本文化の特徴や、その可能性を理解する。
	4 詩歌 竹 萩原朔太郎 永訣の朝 宮沢賢治 のちのおもひに 立原道造 現代の俳句 現代の短歌	○さまざまな詩を読み、抒情世界の広がりや奥行きを学ぶ。 ○言語感覚を磨き、さまざまな表現方法を知り、想像力を育成する。 ○近代詩から現代詩への変遷を学び、それぞれの詩人の生き方について考える。 ○俳句や短歌の鑑賞法について学び、さらにそれらの詩型を使った自己表現を実践する。 ○作品の背景となる時代と伝統詩型である俳句・短歌との関わりについて学ぶ。
二 学 期	5 評論 二 教養はなんのために 柏倉康夫 脳と創造性 茂木健一郎	○論の展開を追い、構成を把握することで、要旨をつかむ。 ○「教養」とは何か、根源的に問い考える、評論の方法を学ぶ。 ○脳についての考察をとおしてそれに対する自分の意見をもつ。
	6 小説 二 神様 2011 川上弘美 バックストローク 小川洋子	○最も現代的な短編小説を読み、文学作品に親しみ、そこに描かれている現代的テーマを知る。 ○登場人物の感覚や心理を追いながら、現代の人間のあり方について考える。 ○それぞれの作品のテーマについて考える。
	7 評論 三 「である」と「する」こと 丸山真男 共生への冒険 井上達夫	○論理的な文章の読解力を高め、論理的な思考力、表現力を養う。 ○近代社会における権利や自由のあり方を考え、現代日本の問題点を具体的に考察する。 ○作品の読解をとおして「多様性」や「共生」の意味を理解し、現代を生きるためには何が必要か、ということについて考える。
三 学 期	8 小説 三 こころ 夏目漱石	○日本近代文学の代表的な作品を読み、その現代に通じる問題意識を読み取ることで、作品主題の普遍性を理解する。
	9 評論 四 ソメイヨシノ革命 佐藤俊樹 文学のふるさと 坂口安吾	○段落構成に対する意識をもち、本文全体の論理展開を分析する力を養う。 ○世界を「物語化」して捉える人間の認識のあり方について理解を深める。

6 評価の方法

- ・授業では、毎回漢字・文法・語彙などの小テストを実施する予定である。
- ・小テストの得点は定期考査の結果に加算する。
- ・夏休みと冬休みには、それぞれ課題図書とその読書感想文を課題として課す予定である。
- ・夏休み中に、学習が遅れぎみな者に対する指名補習と、進学を希望する者を対象とした実力アップ補習(希望者)を実施する予定である。
- ・評価は、定期考査や小テスト(知識・理解)を中心に、出席状況や授業への取り組み状況(関心・意欲・態度)、発言や提言(思考・判断)などを総合的に判断して行う。
- ・定期考査は、1・2学期は中間考査と期末考査を、3学期は期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- ・グループによる調べ学習に付随して、発表の授業とレポートの提出を予定している。
- ・グループ学習による発表学習については、担当教員の評価の他、生徒相互による評価も行い、担当教員が実際の評価を決める際の資料として活用する。
- ・各学習のまとめ段階では、自己評価や相互評価も活用する予定である。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しないので注意すること。